



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月2日

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド 上場取引所 東 名
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	24,377	△1.4	2,930	△8.8	3,210	△10.4	2,144	△23.6
27年3月期第3四半期	24,729	19.1	3,211	203.3	3,584	166.5	2,805	265.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,704百万円 (△58.6%) 27年3月期第3四半期 4,120百万円 (146.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	84.62	—
27年3月期第3四半期	108.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	51,528	45,258	87.8	1,786.14
27年3月期	51,790	44,694	86.3	1,763.88

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 45,258百万円 27年3月期 44,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—		
28年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,700	△3.4	3,200	△22.5	3,500	△23.9	2,400	△35.1	94.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	29,699,500株	27年3月期	29,699,500株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	4,360,735株	27年3月期	4,360,735株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	25,338,765株	27年3月期3Q	25,818,827株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、米国では景気回復基調が続きましたが、中国の経済成長の鈍化及び原油安に伴う金融市場の混乱等により、欧州、日本など先進国及び新興国経済の先行きへの不透明感が強まる状況でありました。

また、世界半導体市場は、これまで成長を牽引してきた中国スマートフォン市場の減速等により、第2四半期連結会計期間以降、前年同期を下回る状況となりました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めましたが、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高24,377百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益2,930百万円（前年同期比8.8%減）、経常利益3,210百万円（前年同期比10.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,144百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、第2四半期連結会計期間以降、一般工業用研磨材の販売が減少したことから、売上高は12,447百万円（前年同期比9.9%減）、セグメント利益（営業利益）は2,042百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

北米につきましては、売上高は3,454百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益（営業利益）は352百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品及びアルミディスク向け製品の販売が増加したことから、売上高は7,253百万円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益（営業利益）は売上増加に加え製品構成の良化により1,607百万円（前年同期比53.9%増）となりました。

欧州につきましては、CMP製品の売上が増加したことから、売上高は1,221百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益（営業利益）は為替の影響もあり117百万円（前年同期比61.4%増）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハ向け製品につきましては、第2四半期連結会計期間以降、半導体需要が前年を下回る状況となったことから、ラッピング材の売上高は2,359百万円（前年同期比4.8%減）、ポリシング材の売上高は4,289百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

CMP向け製品につきましては、アジア市場で最先端ロジックデバイス向け製品及びメモリデバイス向け製品の販売が好調であったことから、売上高は8,494百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、ハードディスクドライブ市場は縮小傾向にあるものの、アルミディスク向け製品における当社シェアの拡大により、売上高は3,098百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、第2四半期連結会計期間以降、当社製品の需要が減退したことから、売上高は4,324百万円（前年同期比29.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、262百万円減少し、51,528百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が871百万円、有価証券が699百万円増加したものの、現金及び預金が1,562百万円、投資その他の資産のその他が406百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、826百万円減少し、6,269百万円となりました。これは、流動負債のその他が401百万円増加したものの、賞与引当金が576百万円、未払法人税等が445百万円、支払手形及び買掛金が320百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、564百万円増加し、45,258百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が464百万円減少したものの、利益剰余金が1,003百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間において、一般工業用研磨材の需要減退が当社グループの想定を超えて推移したことから、業績は予想を下回る結果となりました。最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月8日に公表した平成28年3月期の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,390	16,828
受取手形及び売掛金	6,487	7,359
有価証券	4,805	5,505
商品及び製品	3,121	3,114
仕掛品	890	934
原材料及び貯蔵品	1,594	1,578
繰延税金資産	690	306
その他	182	561
貸倒引当金	△28	△12
流動資産合計	36,134	36,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,913	7,592
その他(純額)	6,232	6,295
有形固定資産合計	14,146	13,887
無形固定資産	710	730
投資その他の資産		
投資有価証券	247	552
繰延税金資産	154	75
その他	522	115
貸倒引当金	△124	△9
投資その他の資産合計	799	734
固定資産合計	15,656	15,352
資産合計	51,790	51,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,319	2,999
未払法人税等	763	317
賞与引当金	947	371
役員賞与引当金	—	49
その他	1,719	2,120
流動負債合計	6,750	5,858
固定負債		
繰延税金負債	13	53
退職給付に係る負債	311	337
その他	20	20
固定負債合計	345	410
負債合計	7,096	6,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,038	5,038
利益剰余金	38,836	39,840
自己株式	△5,379	△5,379
株主資本合計	43,248	44,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133	139
為替換算調整勘定	1,388	924
退職給付に係る調整累計額	△76	△57
その他の包括利益累計額合計	1,446	1,006
純資産合計	44,694	45,258
負債純資産合計	51,790	51,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	24,729	24,377
売上原価	15,000	14,613
売上総利益	9,728	9,764
販売費及び一般管理費	6,517	6,834
営業利益	3,211	2,930
営業外収益		
受取利息	38	21
為替差益	273	217
その他	83	53
営業外収益合計	395	292
営業外費用		
減価償却費	5	4
固定資産除売却損	15	3
その他	0	3
営業外費用合計	22	11
経常利益	3,584	3,210
特別利益		
新株予約権戻入益	48	—
特別利益合計	48	—
税金等調整前四半期純利益	3,633	3,210
法人税、住民税及び事業税	881	578
法人税等調整額	△54	488
法人税等合計	827	1,066
四半期純利益	2,805	2,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,805	2,144

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	2,805	2,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	5
為替換算調整勘定	1,242	△464
退職給付に係る調整額	13	19
その他の包括利益合計	1,315	△439
四半期包括利益	4,120	1,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,120	1,704

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	13,821	3,466	6,256	1,184	24,729	—	24,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,481	796	124	—	5,402	△5,402	—
計	18,302	4,263	6,380	1,184	30,131	△5,402	24,729
セグメント利益	2,709	385	1,044	72	4,212	△1,000	3,211

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,000百万円は、セグメント間取引消去199百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,104百万円及び棚卸資産の調整額△95百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「アジア」セグメントにおいて、最先端ロジックデバイス向けCMP製品及びアルミディスク向け製品の販売が増加した結果、前連結会計年度末に比べ、当第3四半期連結会計期間末の同報告セグメントの資産の金額は、2,143百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	12,447	3,454	7,253	1,221	24,377	—	24,377
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,666	814	192	—	5,674	△5,674	—
計	17,114	4,269	7,446	1,221	30,051	△5,674	24,377
セグメント利益	2,042	352	1,607	117	4,119	△1,189	2,930

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,189百万円は、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,189百万円及び棚卸資産の調整額△10百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「アジア」セグメントにおいて、最先端ロジックデバイス向けCMP製品及びアルミディスク向け製品の販売が増加した結果、前連結会計年度末に比べ、当第3四半期連結会計期間末の同報告セグメントの資産の金額は、962百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。